

## - プログラム -

- ラフマニノフ 練習曲集「音の絵」第1集(Op.33) ~ 第8曲、第2曲  
ドビュッシー アラベスク 第1番 ホ長調  
リスト 3つの演奏会用練習曲 (S144/R5) ~ ため息  
シューマン 子供の情景 Op.15 ~ トロイメライ  
ラフマニノフ 練習曲集「音の絵」第1集(Op.33) ~ 第5曲、第6曲  
ショパン 夜想曲第2番 変ホ長調 (Op.9-2)  
ドビュッシー 前奏曲集第1巻 ~ 亜麻色の髪の乙女、沈める寺  
リスト パガニーニによる大練習曲 (S141/R3b) ~ ラ・カンパネッラ  
~~ 休憩 ~~  
ベートーヴェン ピアノソナタ第23番 へ短調 (Op.57) 「熱情」  
和泉耕二 ピアノと和太鼓による ペルム幻想「大地の夢」

### ペルム幻想 / 2億5千万年の大地の夢

「ペルム」とは2億5千万年前のペルム紀(地質年代)のこと。

2億5千万年という途方もない、遙かな過去から今に至る時の流れは、私たちの想像を激しくかき立てる。

はっきりいえることは、その間「大陸はさらに裂け続け、土は石となり、海は山となったこと」、「地球上のすべてのものがそれ以前から途切れることなく今につながっていて、尚、未来へ向かうだろうということ」、そして、理由はなぜか分からぬが、「一つの命から枝分かれした私たちも、いつの日からかヒトとなって、奇跡のごとく、地球という大地の上に立ちつづけていること」。

きっと私たちヒトもモノも、地球が見ている夢の一部なのかも知れぬ。

和泉耕二 (大阪音楽大学教授)

### 和泉 真弓 (いずみ まゆみ)

国立音楽大学大学院修了。

ピアノを属澄江、マックス・エッカー、の各氏、室内 楽伴奏法を森安権子、ロバート・ヒラー、ハルトムート・ヘルの各氏に師事。1980年、ドイツにてリート伴奏を務め、フランクフルト・アルゲマイネ紙上で「素晴らしい指とテクニック、完成した質を持ち合わせたピアニストである。普通でない非常に感受性豊かな響きを奏でるタッチが突出していた。1980年9月15日」 「説得力のある表現で音楽に躍動感があり楽しめる演奏をする、弾力性に富むピアニストである。《藤田晴子・音楽芸術》」との講評を得る。1975年より国内外(東京、大阪、京都、パリ、ボストン他)にてピアノソロ、デュオリサイタル、室内楽などの演奏活動を行っている。また、日本現代音楽協会、日本作曲家協議会主催演奏会、京都国際音楽祭等で現代音楽作品を演奏する。

2000年11月、パリ・サルコルトー、2001年4月、パリ・ユネスコ・サールアンにて和泉耕二氏の作品を演奏。

ピアノに朗読、パフォーマンスなど様々な可能性を組み入れた、コラボレーションによる、「ピアノは魔術師」を主宰。

日本ブラームス協会、全日本ピアノ指導者協会正会員、

現在、諏訪音楽院 昭和音楽大学ピアノ講師



### 伊達の黒船太鼓保存会

締め太鼓 1 神山正行  
締め太鼓 2 小野寺のぞみ  
宮太鼓 伊藤英俊  
中太鼓 1 阿部裕哉  
中太鼓 2 平塚祐季

「伊達の黒船太鼓」は平成 3 年、旧雄勝町の町制施行 50 周年記念イベントの一つとして、地域の活性化、郷土芸能の振興及び観光客誘致のために創られました。

保存会の名称及び曲名にしている「伊達の黒船」とは、1613 年 10 月、今から約 390 年前、藩祖伊達政宗公が支倉常長を大使として遠くローマに派遣した遣欧使節「サン・ファン・パウティスタ号」のことで、旧雄勝町呉壺がその建造の地と云われており、それにちなみ名付けられました。

### 雄勝石と出会った 30 人のガラスアーティスト展 和泉真弓 ピアノ・リサイタル 「イメージ - 音と光りに包まれて - 」

2007 年 4 月 21 日 14 時

2007 年 5 月 5 日(土) 16 時 30 分

2007 年 5 月 26 日(土) 16 時 30 分

会場：雄勝硯伝統産業会館

製作・発行 ステンドグラス未季会

<http://www.miki-k.net/mikikai/>